

(別紙様式)

令和7年度学校評価の実施状況等調査

学校名	県立宜野湾高等学校
記載者名	玉城 光師

1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	1	1	33	2	0	38

※その他 ()

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	4	0	0				4

※その他 ()

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	55	348	0				403

※その他 ()

4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他(PTA総会)
学校関係者評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他(PTA総会)

5 令和6年度の学校評価を踏まえ、令和7年度改善した点(いじめ問題に関すること等)

① 生徒の進路面に係る質問項目で改善傾向がみられる。
② 教員の個人の裁量(ゆとり)の時間の確保の割合が向上した。
③ スタディー・サプリの活用で自主的に学習ができるよう各教科担任より働きかけをした。
④ 総探・キャリア委員会で年間を通じたキャリア教育計画の推進を図った。
⑤ 生徒指導提要に基づく生徒指導について職員間で目線あわせができるよう図った。

6 令和7年度の学校評価で明らかになった課題

① 教員の働き方改革の一環としてペーパーレス化のさらなる推進が必要である。
② 生徒の家庭学習の習慣については引き続き改善の必要がある。
③ 生徒の授業以外の自主学習については引き続き改善に必要がある。
④ 教員の個人の裁量(ゆとり)の時間の確保は引き続き改善の必要がある。
⑤ 部活動指導の適切な在り方について、全顧問で目線合わせを行う必要がある。

7 令和7年度の学校評価を活かした令和8年度の改善点

① ICTの活用や業務の見直し等を行い、教員の働きやすい職場環境の改善に繋げる。
② 生徒を家庭学習と自主学習に向かわせるための取り組みをおこなう。
③ 生徒のキャリア教育のさらなる充実を図る。
④ 生徒支援に係る職員間の目線合わせと指導の徹底を行う。
⑤ 生徒支援等に係るルール作りなど、必要な取り組みを点検及び改善する。